

IN-001: マグネシウム溶解鑄造用カバーガスの変更

【削減方法】

- プロジェクト実施前に使用していたマグネシウム溶解鑄造用カバーガスを、六フッ化硫黄 (SF6) ガスからより温室効果の小さい他のガスへと変更する。

【適用条件】

- ① プロジェクト実施前のマグネシウム溶解鑄造用カバーガスをSF6ガスからより温室効果の小さい他のガスへ変更すること。
- ② プロジェクト実施前のSF6ガスの使用量及びマグネシウム溶解鑄造品の生産量について、原則として、プロジェクト実施前の1年間の累積値が把握可能であること。

【ベースライン 排出量の考え方】

- プロジェクト実施後と同じ量のマグネシウム鑄造品を、カバーガスの変更を行わずにSF6ガスを使用して生産する場合に想定されるSF6排出量。

【主なモニタリング項目】

- プロジェクト実施後における代替カバーガス使用量及びマグネシウム溶解鑄造品の生産量
- プロジェクト実施前におけるSF6ガス使用量及びマグネシウム溶解鑄造品の生産量 (原則、直近の1年間の当該値を基にベースラインの原単位を算定)

【方法論のイメージ】

